

## 習熟度コース別アンケート結果(授業者)

- 1、習熟度を分けるのに、本人の意志で選択させたことについて
  - ・ 指導した方がよい者がいる。
  - ・ よい(4)
  - ・ 本人のやる気を重視したのは、とてもよいことだと思いますが、同じクラスで評定が1から5までいるのは、あまり習熟度の意味がないと思う。趣旨をきちんと話したほうがよかった。
  - ・ 本人の意志に対して担任の先生がいろいろ相談にのっていたようで大変よかったと思う。
  
  - ・ 本人の意志を前面に出し、1週間の試行の段階でガイダンス期間を設け変更も認めたのはよかった。(2)
  - ・ しかし、習熟度ではなく、慣れている先生ということで選択している生徒もあり、BコースにCコースの生徒がいるのはやりにくい。Cコースのレベルの生徒が発言を取ってしまい、趣旨が生かされない面がある。
- 2、習熟度コース別学習ということで授業の中の教材や内容について工夫したこと
  - ・ Bということで基礎・基本を重視し、最初の10～15分間はワークを使って、1,2年の復習をしている。その分3年教科書は内容理解にとどめざるを得ず、広がりを持たせられない。
  - ・ Bコースについては基礎・基本を中心に取り組み、ワークブックを授業の中で取り組み、定着が図られるようにした。個別の点検を授業の中で繰り返した。
  - ・ プリントを使っている。
  - ・ 渡すプリントは難易度を変えた。話す内容やチェックポイントを変えた。
  - ・ Cコースの生徒は実験操作も手際よく、要領よくできるので、教科書から発展した内容にも取り組ませた。
  - ・ 実験の手順や方法もできるだけ、班の独自性を生かせるようにした。
  - ・ 練習問題や課題を多めにできた。説明の時間を短くし、いろいろな英文に触れる時間を長く取ることができ、やりやすかった。教科書暗唱や英作文など難易度の高い課題も行うことができた。
  - ・ 発展問題をできるだけ多く取り入れ、单元ごとに小テスト、ノート点検、ワーク点検を実施できた。
- 3、授業の中での生徒の取り組みについて
  - ・ 個別で見る時間が増え、意欲的になった気がする。
  - ・ 昨年までは発言できなかった生徒(先に他の生徒に発言され)が、積極的に発言する場面が見られた。
  - ・ 全般的に意欲的、前向きになってきた。個別に対応する時間も増えてきているし、今までは見ただけで終わった生徒も自分が取り組まなければ終わらないので、必死になって考えて取り組もうとする姿勢が見られた。

- ・人間関係ができていればもっと一人ひとりに刺激を与え長所を揺り動かすことができたように思う。
- ・Cコースの生徒たちの取り組みは自分がコースを選択したというプライドもあって、取り組み意欲はきわめて高い。
- ・まじめで、静かに、意欲的。
- ・ほとんど意欲的に取り組んでいる。
- ・よくやっている生徒や質問をしてくる生徒もいますが、やる気のない生徒も残念ながらいる。
- ・小人数なので意欲的に取り組んだ。
- ・まじめにとてもよくやっている。
- ・授業中の発言・発表などの反応もよい。

#### 4、テスト問題について

- ・公平な評定をするという点で同じ問題というのは、疑問も感じている点がある。
- ・進度がそろわず、範囲がせまくなりがちである。
- ・教科書についての内容、ワーク等の出題を多くした。難しい問題については、どちらのコースでも直接練習していないものにした。
- ・市の指針に基づいた内容ならB、Cによつての問題はないと思う。できたら早めに作って協議したい。
- ・共通教材となる教科書、ワークからの出題が若干増えた。

#### 5、評価及び評定について工夫したこと

- ・中間・期末をもとに担当者が相談して決めた。
- ・テスト以外の資料をもっと工夫したい。
- ・今まで以上に慎重になった。教科会をこまめに開き、共通理解(集める資料について)を十分に図った。
- ・テストの反省を書かせた。
- ・習熟度別授業での評価は初めてだったので迷いながら実施した。
- ・テスト・単語テスト・ワーク提出・AETとのコミュニケーションなどそろえられるものはそろえて実施し、評価した。ノートの内容は違うが、チェックの方法はできるだけそろえ、満点を同じ得点にし、実施した。
- ・授業や提出物など評価項目をできるだけ多く共通にして、評価・評定を打ち出せた点はよかった。

#### 6、これからの課題は何ですか。

- ・授業内容を共通にする部分が多くなればコースの独自性がうすくなり、共通の部分が少なくなると、評価の共通資料が少なくなるし・・・。もう少しがんばっていかなくてはと思う。
- ・評価のため、ある程度、活動をそろえたが、やはりBとしては授業内容が異なって当然だと思ふ。そこをいかに公平に評価するかが課題。
- ・できれば、CよりBコースの方を少人数にした方が効果的と思われるが、生徒の意志で

選択するとそういかない場合がある。

- ・ クラスの学力差とこちらの授業力です。
- ・ 評価するための資料を共通化したいのだが、Cでは生徒にやらせて見たいこともBでは難しすぎるなどの問題があり(例えば、自由作文など) 一つ一つの課題をどのように評価していけばよいのか、検討する必要がある。
- ・ 少人数だからやれるメリットの積み重ねをしていくこと。単元ごとの自己評価(達成度)表の作成。評価・評定
- ・ 応用力、数学を解く楽しさを十分につけてやること。
- ・ 定期テスト以外でのテストの実施。(共通問題)
- ・ B C、C Bへの変更のタイミング
- ・ 習熟度別学習であるということを生徒にも徹底させ、Bコースの生徒をクラスの3分の1くらいにしたい。
- ・ 教材の工夫が必要だ。
- ・ 評価・評定について(各担当者間のテスト以外の評価基準をどのようにするか、共通なものにするにはどうすればいいか。